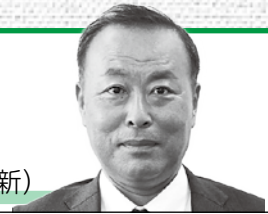


学校再編と生涯スポーツ等 との関わりについて

小野寺 貴男(蒼倫維新)



問 学校体育施設を利用して
いる地域団体やスポーツ団体
にとって、活動場所の確保は
切実な問題であるが、学校再
編に伴い、各地区の生涯スポ
ーツ等への影響はどうか。

答 今後閉校となる学校の施
設の利活用や新たな学校の地
域利用は未定だが、市民の声
を踏まえ、適切な運用方法に
ついて検討する。

問 体育館や校庭を利用して
いる地域団体、スポーツ団体
に向けて、今後の利活用や
影響について説明する機会を
設けることは検討している
か？

答 今後利用方法や利用条件、
また利用施設などの運用が変
わるという状況になった際
には関係する団体を対象に説
明会などの開催を検討してい
きたい。

【その他の主な質問】

○元彩々亭・旧荒井八郎商店
について

○土葬について

○公共施設マネジメント計画
について

集約連携のまちづくりの利根川沿線の 土地利用、公共施設について

小林 修(令和研究会)



問 拡散型都市構造から集約
的都市構造への転換のため、
多様な都市機能を市街地に集
約するとともに、道路や公共
交通と連携し、地域間のネッ
トワークを形成する集約連携
のまちづくりを都市づくりの
基本方針としている。利根川
沿線の北河原、酒巻、下中条、
須加地区は、行田市洪水ハザ
ードマップで家屋倒壊等氾濫
区域に指定されており、建物
の立地基準が他の地区より厳
格化となっている。そこで、
利根川堤防の重要性、安全性
を考慮し、緊急に行う首都圏
氾濫区域堤防強化対策事業の
進捗は。

答 対策延長は49.5キロメー
トル、本市を含む東北自動車
道から深谷市までの上流2期
区間延長は約26キロメートル
で、令和8年度3月時点で、
用地取得率約53%、堤防強化
の整備進捗率約11%である。
本市においては、用地取得が
完了した箇所から、必要とな
る埋蔵文化財調査を経た上で、
今年度から須加地内の地盤改
良工事に着手する予定。

下水道管の全国特別重点調査の結果と 今後の対応

木村 博(公明党)



八潮市の道路陥没事故を受
け、国土交通省は令和7年3
月に全国の自治体に対し下水
道管の調査依頼を行った。
問 調査内容と本市の調査結
果について伺う。

答 昨年3月時点で設置後30
年以上が経過した直径2メー
トル以上の下水道管について
調査を行うよう依頼された。
本市では原則1年以内に速や
かに対策が必要と判断した管
延長が187メートルで、応
急措置をした上で5年以内に
対策が必要となった管延長は
560メートルであった。

問 緊急を要する箇所の現状
と対策方法について伺う。

答 緊急を要する箇所と応急
措置を行う箇所を含めた約3
50メートルについて、現在
通行止めを行い、安全の確保
に努めている。対策方法につ
いては、委託業務の中で既存
の下水道管の内面に新たな管
を更生する方法を検討してい
る。8月には工事契約を行い、
来年3月完成を目指す。

【その他の主な質問】

○災害発生時の備えについて